関東地方

名前

問1　群馬県太田市などの北関東の都市を中心に見られる、高速道路のネットワークを活用した工業の立地について述べた文として、正しいものはどれですか。（2021年 奈良県公立入試 類似）

1. 製品の輸送や部品の調達をトラックで行うのに適した、高速道路のインターチェンジ周辺に工場が集まっている。
2. 電力の確保を最優先とするため、大規模な水力発電所が建設されている山間部の急流沿いに工場が密集している。
3. 原料を海外からの輸入に頼るため、大型船が接岸できる埋立地や臨海部に広大な工場用地を確保している。
4. 製品の鮮度を保つために、消費地である大都市の中に小規模な工場が点在し、地下鉄を利用して製品を運んでいる。

問2　北関東工業地域が、内陸部を中心とした立地でありながら、機械工業を中心に発展を続けている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2021年 静岡県公立入試 類似）

1. 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため
2. 利根川などの豊富な水資源を背景に、電力消費が激しい鉄鋼業や石油化学コンビナートが集中したため
3. 古くから続く製糸業の伝統を活かし、絹織物の技術を先端的な半導体製造へと直接応用させたため
4. 大規模な港湾施設が整備されたことで、海外から輸入した鉄鉱石や石炭を直接工場へ運び込めるようになったため

問3　茨城県における農業の特徴を説明した次の文のうち、その背景や実態について述べたものとして正しいものはどれですか。（2023年 東京都公立入試 類似）

1. 施設栽培によりピーマンなどを年間通して生産し、東京までの輸送利便性を活かして出荷している。
2. 広大な平野を利用し、機械化を進めることで、主にごぼうなどの根菜類を大規模に輸出している。
3. 夏の冷涼な気候を利用して、レタスなどの高原野菜を都市部に向けて出荷している。
4. 冬の温暖な気候を活かし、きゅうりなどの収穫時期を通常より早める促成栽培が中心である。

問4　千葉県に位置する成田国際空港が、横浜港や名古屋港などの大規模な海港を抑えて、貿易額（輸出入額）で国内首位となっている理由として最も適切なものはどれですか。（2022年 三重県公立入試 類似）

1. 鉄鉱石や原油といった、日本の産業に不可欠な重量のある資源の輸入拠点となっているため。
2. 世界最大のコンテナターミナルを有し、大型貨物船による大量輸送のハブとなっているため。
3. IC（集積回路）や医薬品など、小型で軽量かつ高価な製品の取り扱いが多いため。
4. 旅客数が日本で最も多く、入国者が持ち込む免税品の総額が貿易額に含まれているため。

問5　1985年に発行された八王子市の地形図では山地や森林が広がっていた地域が、2015年の地形図では大規模な区画整理が行われ、新たな住宅地へと変化しています。この地域の開発に伴い、新しく地図上に描き加えられた鉄道駅の名称として正しいものを選びなさい。（2021年 群馬県公立入試 類似）

1. 北八王子駅
2. 高尾駅
3. 八王子みなみ野駅
4. 片倉駅

問6　関東地方の工業の特色について、千葉県の東京湾岸一帯には大規模な埋立地が広がり、石油精製や化学工業の工場が集まる全国有数の石油化学コンビナートが形成されています。この工業地域を何と呼びますか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 京浜工業地帯
2. 京葉工業地域
3. 鹿島臨海工業地域
4. 北関東工業地域

問7　関東地方の工業統計において、千葉県では石油・化学工業の割合が高く、埼玉県では輸送用機械の割合が高いという特色が見られます。このような産業構造の違いが生まれる背景や理由として適切なものはどれですか。（2026年 福島県公立入試 類似）

1. 千葉県は利根川沿いの肥大な土地を活かした食料品工業を主軸とし、埼玉県は秩父山地の鉱物資源を背景とした鉄鋼業を主軸として発展してきたから。
2. 千葉県は内陸部における電気機械の生産が産業の柱であり、埼玉県は荒川沿いの水資源を利用した大規模な製鉄所の集積によって鉄鋼業が成長したから。
3. 千葉県は京葉工業地域の沿岸部に位置し、海外からの原料輸入に適した石油・化学コンビナートが形成され、埼玉県は交通網の発達した内陸で加工組立型工業が発展したから。
4. 千葉県は京浜工業地帯の一部として自動車などの輸送用機械の輸出拠点となり、埼玉県は県内の油田から採掘される資源をもとに石油・化学工業を成長させたから。

問8　関東地方の各都県にまたがる台地の自然環境と土壌について述べた文として、最も適切なものを選択してください。（2026年 福島県公立入試 類似）

1. 利根川などの河川が運んできた土砂が堆積してできた、水田に適した粘土質の土壌が台地の大部分を占めている。
2. 九州地方南部に広がる、大規模な火砕流による火山灰が堆積してできたシラス台地が形成されている。
3. 富士山や箱根山などの火山灰が堆積してできた、関東ロームと呼ばれる赤色の土層が台地を広く覆っている。
4. 西日本に多く見られる、花こう岩が風化してできた「まさ土」と呼ばれる水はけの良い砂状の土が広がっている。

問9　かつて果樹園が広がっていた「鍋島農場」が、現在のように博物館や学校、多くの住宅が立ち並ぶ「松濤」という地域へと姿を変えた背景にある、都市の機能が拡大し土地利用が変化する現象を何と呼びますか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. 過疎化
2. 工業化
3. 情報化
4. 都市化

問10　日本の自然環境に関する文章中の空欄（ ① ）・（ ② ）にあてはまる語句の組み合わせとして最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。「関東平野を流れる（ ① ）は、日本最大の流域面積をもつ河川である。冬の関東地方では、山脈を越えて吹く（ ② ）からの乾燥した季節風の影響で、晴天の日が多くなる。」（2026年 徳島県公立入試 類似）

1. ① 信濃川 ② 北西
2. ① 信濃川 ② 南東
3. ① 利根川 ② 北西
4. ① 利根川 ② 南東

問11　大都市圏の郊外に位置し、主に住宅地としての機能を持つ「ベッドタウン（衛星都市）」の人口指標の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 山口県公立入試 類似）

1. 夜間人口に比べて、通勤や通学で市外へ出る人が多いため、昼間人口の方が少なくなる
2. 夜間の居住が制限されているため、夜間人口が昼間人口の半分以下に減少する
3. 昼間人口と夜間人口がほぼ一致しており、地域内での雇用の場と住居が完全に調和している
4. 地域内に工場や大学が非常に多いため、夜間よりも昼間の人口の方が圧倒的に多くなる

問12　日本の都道府県別の農業統計において、茨城県は耕地面積一ヘクタールあたりの農業産出額が非常に高い傾向にあります。このような、単位面積あたりの生産性を高める集約的な農業が行われている背景として、最も適切なものはどれですか。（2016年 京都府公立入試 類似）

1. 県全体の耕地面積が日本で最大であり、広大な土地を利用した米の単一栽培が行われているため。
2. 首都圏という巨大な消費地に近く、野菜などの収益性の高い作物を育てる近郊農業が盛んであるため。
3. 一戸あたりの経営面積が全国で最も広く、大規模な機械化によって生産コストを抑えているため。
4. 山地が多く耕地が限られているため、急斜面に段々畑を設けて果樹栽培に特化しているため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 製品の輸送や部品の調達をトラックで行うのに適した、高速道路のインターチェンジ周辺に工場が集まっている。	内陸型工業の最大の特徴は、道路網の発達を背景に、交通の利便性が高い場所に立地することです。特に、部品の調達と製品の出荷が頻繁に行われる自動車工業などでは、高速道路のインターチェンジ付近に工場を建てることで、物流コストを抑えつつスムーズな生産体制を築いています。これに対し、臨海部に立地するのは鉄鋼業や石油化学工業などの重化学工業であり、内陸型工業とは立地条件が異なります。
問2	答え 1 地価が安く広大な土地が確保でき、高速道路網の整備によって自動車や部品の効率的な輸送が可能になったため	北関東工業地域は、東北自動車道や北関東自動車道などの高速道路が整備されたことで、部品や製品の配送が容易になりました。沿岸部に比べて安価で広い工場用地を確保しやすいため、多くの組み立て工場が進出し、機械工業が集積する内陸型の工業地域として発展しました。一方、港湾施設を前提とした重化学工業は、京葉工業地域や鹿島臨海工業地域の特色です。
問3	答え 1 施設栽培によりピーマンなどを年間通して生産し、東京までの輸送利便性を活かして出荷している。	茨城県の南東部では、施設栽培によってピーマンなどの生産が盛んです。地理的に東京からトラックで約3時間という近距離にあるため、収穫したその日に市場へ届けることができる強みを持っています。他の選択肢にある高原野菜は長野県や群馬県、促成栽培は宮崎県や高知県などの特徴です。
問4	答え 3 IC（集積回路）や医薬品など、小型で軽量かつ高価な製品の取り扱いが多いため。	航空輸送は船便に比べて運賃が高いため、短時間での輸送が求められるものや、製品の価値が高いものが優先的に運ばれます。成田国際空港では、パソコンやスマートフォンの部品となるICチップ、精密機械、高額な医薬品などが多く取引されており、これらは単位重量あたりの価格が非常に高いため、貿易総額を押し上げる要因となっています。
問5	答え 3 八王子みなみ野駅	1980年代半ばまで森林や山地が卓越していた八王子市南部では、大規模な宅地開発が進められました。これに伴い、1997年にJR横浜線の新駅として「八王子みなみ野駅」が開業し、2015年の地形図では駅を中心に整然とした街並みが描かれています。地形図を比較することで、短期間での土地利用の変化や交通網の整備を読み取ることができます。
問6	答え 2 京葉工業地域	千葉県の東京湾岸に位置するこの地域は、大規模な埋立地を利用して石油化学コンビナートが集中して建設されました。そのため、千葉県は製造品出荷額等において、化学工業の占める割合が他の都道府県と比較して非常に高いという特色を持っています。これに対し、神奈川県側は京浜工業地帯と呼ばれます。
問7	答え 3 千葉県は京葉工業地域の沿岸部に位置し、海外からの原料輸入に適した石油・化学コンビナートが形成され、埼玉県は交通網の発達した内陸で加工組立型工業が発展したから。	工業の特色は、その地域の地理的条件に強く影響を受けます。千葉県は東京湾の埋立地を利用して巨大な石油・化学コンビナートが建設されたため、基礎素材を生産する重化学工業が強みとなっています。一方、埼玉県は内陸に位置しますが、首都圏の巨大な消費地に近く、高速道路などの交通網が整備されているため、自動車などの輸送用機械を中心とした加工組立型の工業が発展しました。
問8	答え 3 富士山や箱根山などの火山灰が堆積してできた、関東ロームと呼ばれる赤色の土層が台地を広く覆っている。	関東地方は、利根川などの流域に広がる「低地」と、その周囲に広がる「台地」に分けられます。この台地部分を覆っているのが「関東ローム」であり、火山灰が堆積してできた赤土であるという点が最大の特徴です。シラスは主に鹿児島県を中心とした九州南部、まさ土は西日本の山地・平野に多く見られる土壌であり、地域ごとの土壌の特色を捉えることが重要です。
問9	答え 4 都市化	都市の周辺部において、人口の増加や経済活動の拡大に伴い、農地や森林が住宅地や文教地区、商業地などへとつくり替えられる現象を都市化と呼びます。松濤の事例は、かつての広大な農場が都心部の発展に合わせて高級住宅地や美術館などが並ぶ地域へと変容した、土地利用の変化の典型的な具体例として知られています。
問10	答え 3 ① 利根川 ② 北西	関東地方を流れる利根川は、日本で最も広い流域面積を持つ河川です。冬になるとユーラシア大陸側から北西の季節風が吹き、山脈で水分を落としたあと乾燥した風となって関東地方に吹き下ろします。
問11	答え 1 夜間人口に比べて、通勤や通学で市外へ出る人が多いため、昼間人口の方が少なくなる	郊外のベッドタウンでは、夜間に帰宅して寝るための場所という性質が強いため、居住している「夜間人口」は多くなります。しかし、朝になると都心部の職場や学校へ多くの住人が移動（流出）するため、その地域に留まる「昼間人口」は夜間人口を下回ることになります。これを指標で見ると、昼夜間人口比率が100を下回る状態となります。
問12	答え 2 首都圏という巨大な消費地に近く、野菜などの収益性の高い作物を育てる近郊農業が盛んであるため。	茨城県は東京などの大消費地に隣接しており、輸送コストを抑えつつ新鮮な農産物を供給できる「近郊農業」の利点を最大限に活かしています。そのため、広大な土地で比較的単価の低い米を育てるよりも、単位面積あたりの収益が高い野菜などを手間をかけて育てる集約的な農業が発達しました。その結果、耕地一ヘクタールあたりの農業産出額（土地生産性）が、東北などの米作中心の県に比べて高くなっています。なお、一戸あたりの経営面積が最大なのは北海道です。